



健康保険証は存続を！

政府は、マイナンバーカード(マイナカード)の利活用を広げる法案を、6月の国会で採決しました。しかし、法案成立後も、各地で誤登録や医療機関での不備が報告され、現場は混乱しています。世論調査でも、現在の健康保険証を来年秋に廃止し、マイナカードに一本化する政府方針に関し、延期や撤回を求めたのは、76.6%で、前回から4.5ポイント増加しています。また、カードの返納など計32.7%が、将来的に保有しない意向を示しています。

法改正により、現行の健康保険証を廃止しマイナカードに1本化されます。これまでの3分野(税・社会保障・災害時)に、国家資格の取得・更新や自動車登録の手続き、年金受取口座とのひも付けも決まりました。しかし、個人情報漏洩の保護装置もないまま、メリットのみが強調された結果、問題が噴出しています。

マイナカードに集積された個人情報は、政府が認可した民間企業も閲覧・利用できます。私たちの大切な個人情報が、企業利益に利用されることが無いように、個人情報の保護が求められています。

無保険者を生まないためにも！

マイナ保険証の登録件数は、国民の5割に届いていません。国民の権利であり、保険者と政府の責務である健康保険証の「発行・交付義務」が、廃止により自己責任の「申請主義」になります。健康保険証の廃止後は、マイナ保険証を持たない国民には、資格確認証(1年間有効、効力は保険証機能と同じ)で、医療機関の受信が可能になります。しかし、本人の申請が前提であるために、申請が難しいことや、忘れてすりば、「無保険」状態になることも懸念されます。

保険証の廃止ではなく存続を、国民皆保険制度を守り、無保険者を生まない社会にしましょう。

当面の日程

8月19日(土) 第80回定期地方大会
13時30分～石川県平和と労働会館3階

9月30日(土) 第27回定期支部大会
13時30分～石川県平和と労働会館3階

※支部大会終了後、第2分会が解散大会を行います。解散大会終了後、第1分会定期大会を開催します。また、17時30分から大会後の懇親会も計画しています。全組合員の参加をお願いします。

七尾線ワンマン列車における全ドア扱いについて

金沢支社は、七尾線のワンマン列車のドア扱いを、全車扱いに統一し、8月1日、始発列車から運用することを、明らかにしました。これまでは、4両運転時はすべての駅でドアが開きますが、2両の場合、一部の駅で、1両目のドアしかあかないことから、乗り過ごしや、乗れなかった、慌てて転びそうになったなど、多くの問題が発生していました。国労は、団体交渉で、「2両時も全ドア扱い」するよう強く要求してきました。